患者向医薬品ガイド
2020年12月更新

デスモプレシン点鼻スプレー0.01%「ILS」

【この薬は？】

販売名 ： デスモプレシン点鼻スプレー0.01%「ILS」
(Desmopressin Nasal Spray 0.01% 「ILS」)
一般名 ： デスモプレシン酢酸塩水和物（Desmopressin Acetate Hydrate）
含有量 ： 1瓶（5mL）中デスモプレシン酢酸塩水和物500μg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。
したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。
医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。
さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、夜尿症用剤と呼ばれる点鼻用スプレー剤です。
・この薬は、体内で尿の量を調節する抗利尿ホルモンのバソプレシン（脳の下垂体から分泌される）の夜間の分泌不足が関係しておきる夜尿症の治療に用います。この薬は、バソプレシンと同じような働きを持つ物質（誘導体）であり、バソプレシンの不足を体外から補うものです。
・次の病気の人に処方されます。
尿の浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う下記疾患
夜尿症
・この薬は原則として6歳以上の人が使用します。
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬を夜尿症に使用して、過剰に水分が体にたまることによるけいれん（水中毒）がおこったとの報告があります。患者さんや家族の方は、水中毒（体がだるい、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下、けいれんなど）があらわれることがあることや、水分摂取の管理の重要性について十分理解できるまで説明を受けてください。**【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】**と**副作用は？**に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。
・低ナトリウム血症の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・高血圧を伴う循環器障害、動脈硬化症、冠動脈血栓症、狭心症の人
・下垂体前葉不全の人
・過去にアレルギー性鼻炎をおこしたことがある人
・鼻の病気を持っている人
・過去にデスモプレシン点鼻スプレー0.01%「ILS」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬の使用前に尿検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

この薬は、鼻腔内に使用するスプレー剤です。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、1日1回就寝前に1噴霧、鼻腔内に使用します。
1日の最高使用量は、2噴霧までです。

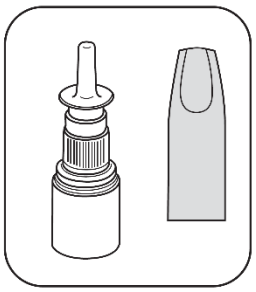
●どのように使用するか？

使用方法については製品に同封されている説明文書「デスモプレシン点鼻スプレー0.01%「ILS」のご使用にあたって」をよく読んでから使ってください。
また、以下の説明も参照してください。不明な場合は、医師または薬剤師に相談してください。
（スプレーによる鼻腔内使用法）
吸収を安定させるため鼻をかんでから使用してください。

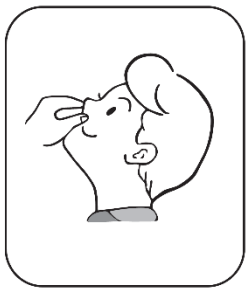
使用方法

①本剤をスプレーする前に、鼻をかんで鼻腔の通りを良くして下さい。

④頭を少し後ろに傾け、図のようにノズルの先端を鼻腔に入れ、息を止めてスプレーします。スプレー回数が 2 回の場合は、左右の鼻腔に交互にスプレーして下さい。

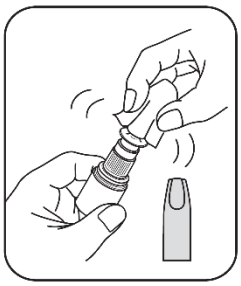


②容器からオーバーキャップを外します。

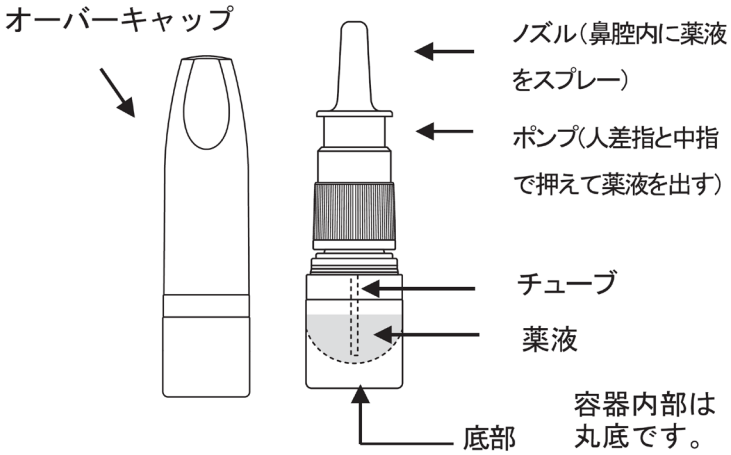


⑤スプレー後は薬液を鼻の奥まで行き渡らせるように、頭を後ろに傾けた状態で軽く鼻を押さえ、鼻から静かに息を吸うようにして下さい。

③親指で底部を支え、人差指と中指でポンプを押さえ、容器を図のように持ちます。スプレーする時には止まるまでポンプを強く押し込んでください。
留意点 1）を参照。

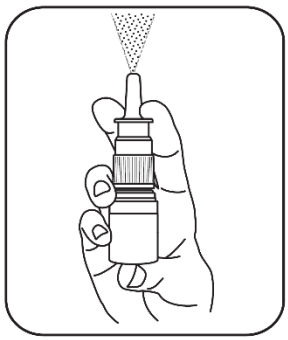


⑥使用後は、ノズルの先端をきれいにふいて、オーバーキャップをして下さい。使用しない時は、高温を避け、瓶を立てた状態で保管して下さい。



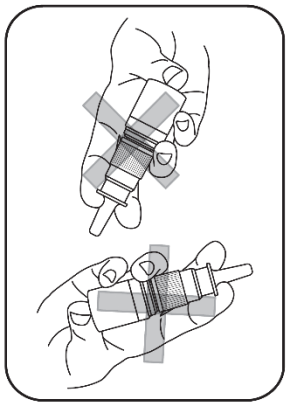
留意点

1）



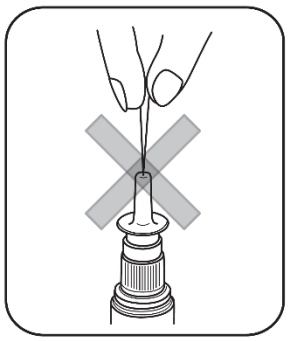
本剤を初めて使用する時には、ポンプを数回(4 回程度)押して薬液が吸い上げられるようにし、薬液が霧状に出てくることを確認してからご使用下さい。また、長期間(1 週間以上)使用していなかった場合等にもポンプを１回もしくは薬液が霧状にでてくるまで空打ちしてから使用する必要があります。
なお、スプレーする時には人差指と中指の力を均等にかけ、止まるまでポンプを強く押し込んでください。

2）



スプレー使用時には、瓶の内側のチューブの先端が薬液の中に入っている状態で使用する必要があります。
薬液が少なくなった状態で、あまり極端に容器を傾けたり、逆さにすると、正確な量が噴霧されなくなりますのでご注意下さい。このような場合には空打ちしてからご使用下さい。

3）



空打ちの際、薬剤の噴霧が不十分でも針やピンなどで噴霧口を突かないで下さい。
正確な量を噴霧できなくなります。

4）ポケット等、体温が伝わる所に入れて携帯すると液漏れを起こすおそれがありますので、携帯時にはオーバーキャップをして、バッグ等に入れて携帯して下さい。

5）バッグ等に入れて携帯する際、振とうや落下などの衝撃を加えないよう注意して下さい。液漏れを起こすおそれがあります。

6）1 容器中の噴霧回数(30 回)を超えて噴霧すると、正常に噴霧されない場合があります。

●使用し忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に使用してはいけません。
使い忘れたら、翌日から指示された量を使用してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

頭痛、冷感、吐き気、けいれん、意識喪失（そうしつ）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、受診

してください。過量使用の処置薬として、等張もしくは高張食塩水やフロセミドがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を１週間以上使用する場合は、血漿浸透圧や血清ナトリウム値の検査（血液検査）が行われます。
・水中毒の予防のために、患者さんや家族の方は次のことを理解できるまで十分に説明を受けてください。
　・この薬を使用する２～３時間前（夕食後）より翌朝までの飲水は極力避けてください。水分をとり過ぎた場合にはこの薬を使用しないでください。発熱、喘息などの水分を多く取る必要がある病気の人は、水分のとり過ぎに特に注意してください。
　・就眠前にはかならず排尿して、指示された使用量を守ってください。
　・水中毒を疑わせる症状（体がだるい、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）など）があらわれた場合にはただちに使用を中止し、医師に連絡してください。
　・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
・夜尿症は自然に軽快・治癒する傾向があるので、この薬を長期間使用する場合は、定期的（3 カ月前後）に休薬する期間（1～2 週間）を設けて、この薬の有効性の評価が行われます。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
脳浮腫、昏睡、けいれん等を伴う重篤な水中毒 のうふしゅ、こんすい、けいれんなどをともなうじゅうとくなみずちゅうどく	〔水中毒〕体がだるい、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下、けいれん 〔脳浮腫を伴う場合〕めまい、意識の低下、頭痛、視力の低下、深く大きい呼吸、手足のふるえ、精神の混乱 〔けいれんを伴う場合〕けいれん 〔昏睡を伴う場合〕意識がなくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表を御覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、けいれん
頭部	頭痛、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる
眼	視力の低下
口や喉	吐き気、嘔吐（おうと）

部位	自覚症状
胸部	吐き気、深く大きい呼吸
腹部	吐き気
手・足	手足のふるえ
その他	判断力の低下、精神の混乱

【この薬の形は？】

外観	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	デスモプレシン酢酸塩水和物
添加物	日局塩化ナトリウム、日局クエン酸水和物、リン酸水素二ナトリウム二水和物、日局ベンザルコニウム塩化物液

【その他】

●この薬の保管方法は？

・高温を避け、ビンを立てた状態で保管してください。
・ポケット等、体温が直接伝わるところに入れて携帯すると液漏れを起こすおそれがあります。旅行等で携行する場合は極力温度差の少ない場所に保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ＩＬＳ株式会社
電話：0297-45-9897

発売会社：　高田製薬株式会社
(https://www.takata-seiyaku.co.jp)
くすり相談窓口
電話：0120-989－813
受付時間：8 時 30 分～17 時 20 分
（土、日、祝祭日、会社休業日を除く）